



重要な役割を担っている。文部科学省は、学校図書館は生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で、重要な役割を担っているとしている。

Q: 学校図書館づくりの充実について
A: 様々な本との出会いを通して多くの人の考え方や生き方と出会い、心の成長に果たす役割は大きい。学校図書館の充実するための取り組みは重要であると考え。そのための司書の配置も考えていきたい。
Q: 26年度の住民1人当たりの教育費が県内35市町で4番目に低い理由はその原因を探ってほしい。(32位:沼津市27,292円 22位:三島市36,039円 15位:富士市42,806円)
A: 近隣市町の数字の状況については私自身勉強して原因等調べさせていただきたい。

一般質問 学校図書館づくりの充実について



	小学校	中学校	合計	勤務時間(年)
沼津市	8人/24校	8人/17校	16人	280時間(3校掛持ち)
富士市	27人/27校	16人/16校	43人	800時間(160日間)
三島市	14人/14校	7人/7校	21人	840時間(210日間)

沼津市は教育にかける財源が他市町に比べ低い現実はある。学校図書館の司書が学校にいる時間が他市に比べ極端に少ないこと等が、教育の質の低下に繋がっていないだろうか。
沼津から育っていく子どもたちが世界で活躍していくようにするためにも、人を育てる、子どもたちの教育に目を向けていただきたいと思います。ここは市長としても意を用いるべきではないか。

鉄道高架事業訴訟支援のお願い

高架事業の本質を問い、当局側に抜本的な見直しを迫るための訴訟には、多額の裁判費用が必要となります。1口2000円の募金にご協力よろしくお祈りします。

振込先: 南駿農協 原支店 口座 0058372
沼津駅鉄道高架訴訟支援の会 会計山本さよ子

鉄道高架の地権者が国と県を提訴へ

9月9日静岡地裁に、富士見地区、原西部地区の地権者及び周辺住民106名は、静岡県と国に都市計画法に基づき、無効確認と収用裁決の事前差し止めを求める訴訟を起こしました。

東京新聞 9月10日

Hello from MAASA

娘、真麻からのレター Vol.4

9月27日、私は第1子を21時間かけて出産したが、それはとてもドラマチックでバラエティーに富んだものであった。

自宅で12時間陣痛に耐え、病院では風呂にも入り、笑気ガスも吸い、歩き回り、低周波TENSも使い、硬膜外麻酔(無痛分娩)もやってみたのだが、結局21時間後、ベビーの頭が大きかったために帝王切開となった。

通常は出産の4時間後には帰宅し、助産師と自宅でケアするはずだったが、予想外の4日間の入院になってしまった。しかもその間の1日はアデレード市内全

が情報交換をするシステムがある。保育園はこちらでも大変で、約6ヶ月前から5か所の保育園に申込みをしてラッキーなことに2月から入れることになり、その機会に仕事に復帰しようと思うので、マザーズグループに参加することはできないかもしれないが、今の時点ではキャリア優先で頑張ってみようと思う。

公立病院なので費用は全て無料で、退院から数日間は助産師が訪問して母子の健康診断や、私の精神面などのカウンセリング等、とにかく不安や疑問に何でもフレンドリーに対応してくれた。

それから3日後、1週間後、2週間後となり、その後はローカルの医師に引き継がれた。また、同じ地域の同い年くらいの赤ちゃんがいる母親(または父親)同士のマザーズグループに入会すると週一回集まり、カフェに行ったりヨガをしたりしな



鉄道高架の地権者が国と県を提訴へ

9月9日静岡地裁に、富士見地区、原西部地区の地権者及び周辺住民106名は、静岡県と国に都市計画法に基づき、無効確認と収用裁決の事前差し止めを求める訴訟を起こしました。

福度調査では、日本は53位と低く、経済的に豊かになっただけで、私たちが幸せを感じていないのです。

ではどうすればいいのか。政治が変われば、教育や暮らしの問題も変わる可能性があります。政治は有権者の投票行動で変えることができます。

それが今回の市長選ではなかったでしょうか。

今度こそ変えなければ「沼津の将来」はないと思っただけではないでしょうか。

私はみんなが素直に「しあわせ」と言える社会を目指したい。その可能性を信じて、市民のための市民派議員として沼津市民の幸せへ向けて全力で闘い続けていきます。

どうぞ今年もよろしくお祈りします。

参議院選や都知事選があり、沼津においても市長選があり、40数年ぶりの民間人登場と言われています。

日本は政治に期待しても暮らしてはよくならないし、今年、「保育園落ちた日本死ね。」とママたちの切実な声があり、日本各地で憲法や原発問題も含めてきしみの声が聞こえています。

2016年の国連の世界幸福度調査では、日本は53位と低く、経済的に豊かになっただけで、私たちが幸せを感じていないのです。

ではどうすればいいのか。政治が変われば、教育や暮らしの問題も変わる可能性があります。政治は有権者の投票行動で変えることができます。

それが今回の市長選ではなかったでしょうか。

今度こそ変えなければ「沼津の将来」はないと思っただけではないでしょうか。

私はみんなが素直に「しあわせ」と言える社会を目指したい。その可能性を信じて、市民のための市民派議員として沼津市民の幸せへ向けて全力で闘い続けていきます。

どうぞ今年もよろしくお祈りします。



2017年の「しあわせ」へ向けて